

子育てに関する理解を深めることを目的に、若い世代（高校生）を対象にした講演会を実施しております。

令和5年度は12月に実施しましたので、高校生の感想を紹介します。

月日 令和5年12月19日(火)
場所 笠岡商業高等学校
参加 笠岡商業高等学校 3年生 107名
講師 笠岡第一病院 副理事長(小児科医)
宮島 裕子 先生



**** 主な講演内容 ****

- ◆出生数の推移と人口構成
- ◆妊娠、出産について
- ◆自立とは生きる力・・・自分育ての継続
- ◆自己肯定感・・・自分をあきらめない
- ◆四月から社会に羽ばたくあなた達に
- ◆子育て親育ちの醍醐味 など

少子高齢化で、岡山県の具体的な数字を知れたことが印象に残っている。

妊娠・出産は女子だけの問題ではなく、男子も考えていかないといけないなど改めて感じた。

失敗の経験が自分育てにつながると知って、もっといろんなことに挑戦していきたいと思った。

人に依頼する力が大切だという内容に共感しました。

自立して社会人になるということ、子どもを育てるということをとっても考えさせられた。自分の未来設計を立てて、将来について考えることは大切だと感じた。

晩婚化や晩産化が進んでいる中ではあるが、一人一人が積極的に子育てに携わることが重要だと感じた。

社会人として自立していくことが大切だと思った。できない理由を並べずにできるようになる方法ややろうとする気持ちを持って生活していきたい。

子育ては大変だけど、楽しくてやりがいがあるものだと思った。

自己肯定感や自分をあきらめないこと、自分のことが嫌になったら自分の良いところをみつけるという話が印象に残った。

親がどんな気持ちで子どもを育てているのか知ることができた。家族への感謝を感じた。

子どもを育てることは大変なこともあるけど、自分にとっての成長もあり、良いこともたくさんあるんだなと思った。

もし将来自分に子どもができたなら、しっかり親に育ててもらった分、自分の子どもにも愛情を注ぎたいと思った。